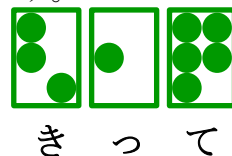


●点字は6点（1～6）の組み合わせで
そのひとつひとつを「マス」といいます。

マス(凸面)

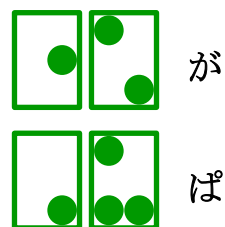
- 五十音 ★ ワ行とヤ行以外の行は、**1****2****4**点できているア行（母音）が基本となり
ア行（ア・イ・ウ・エ・オ）と**3****5****6**点（子音）の組み合わせになります。
- ★ ワ行はア行と同じ形をもっとも下の位置まで下げます。
- ★ ヤ行はワ行に**4**点を加えて表されます。
- ★ 助詞の〔は〕〔へ〕は発音にあわせて〔わ〕〔え〕と表されます。
例：川は（かわは）→かわわ 家へ（いえへ）→いええ
- ★ 長くのばす〔う〕は長音符〔ー〕を使い、**2****5**の点で表されます。
例：校長（こうちょう）→こーちよー
- ★ 小さい〔っ〕（促音符/そくおんぷ）は、**2**の点で表されます。
例：切手（きって）



だくおん濁音 ・ はんだくおん半濁音 ・ ようおん拗音 などは、**2**マスを使うよ!!

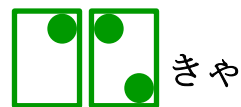
濁音・半濁音（かなに〔゛〕〔゜〕をつけたにごる音の文字）

- ★ 濁音〔゛〕は、**5**の点で表され、かなの前（左）にきます。
例：が → 1マス目に**5**の点、右の2マス目に**1****6**の点
- ★ 半濁音〔゜〕は、**6**の点で表され、かなの前（左）にきます。
例：ぱ → 1マス目に**6**の点、右の2マス目に**1****3****6**の点



拗音（小さな〔ゃ〕〔ゅ〕〔ょ〕がついた文字）

- ★ 拗音は、**4**の点で表され、かなの前（左）にきます。
例：きゃ → 1マス目に**4**の点、右の2マス目に**1****6**の点



すうふ数字 は すうふ数符 を忘れずに!!

- 数字 ★ 数字は、五十音のア行・ラ行の文字と並び方が同じなので
その前（左）に数符がついて、数字であることを示します。
- ★ 千の位までは、一つの数字は一つの数符に続けて表されます。
- ★ 数字のうしろにア行・ラ行のかなが続く場合は、

数符(凸面)

つなぎ符（ ）をはさんで表されます。

つなぎ符は、**3****6**の点で表します。

